

付 録

1 事務参考資料

出版物等一覧（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

名称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	12	300	A4	42	中学校、高等学校
なごやっ子防災ノート 小学～3年生用	指導室	3	20,100	A5	28	学校
なごやっ子防災ノート 小学4～6年生用	指導室	3	20,000	A5	32	学校
なごやっ子防災ノート 中学生用	指導室	3	18,200	A5	28	学校
ナゴヤ歴史探検	指導室	3	18,700	A4	108	市立中学校生徒
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	14,000	A4	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	6	39,000	A4	8	小学校1・4年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	21,200	A4	2	中学校
中学校スクールランチ —楽しくおいしくバランスよく—	学校保健課	9	24,400	A4	4	小学校
パンフレット「親学」 (令和4年度)	生涯学習課	4	292,000	A4	8	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校等の保護者
「地域社会の連携を促し活躍できる人材育成の在り方—コミュニティづくり講座(区特化型)の企画立案を通して—」	生涯学習課	3	110	A4	40	関係機関
名古屋の山車行事総合調査 鳴海・有松の山車行事総合調査報告書	文化財保護室	8	600	A4	652	関係機関、市民
埋蔵文化財調査報告書95 新尾頭1丁目遺跡	文化財保護室	3	300	A4	24	関係機関
埋蔵文化財調査報告書96 熱田B遺跡第3次	文化財保護室	3	300	A4	80	関係機関
埋蔵文化財調査報告書97 大門町遺跡	文化財保護室	3	300	A4	20	関係機関
名古屋市見晴台考古資料館 研究紀要第17号/2023	見晴台考古資料館	3	400	A4	124	関係機関

名称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
令和4年度 名古屋市見晴 台考古資料館 展示の記録	見晴台考古 資料館	3	200	A4	14	関係機関
名古屋市立図書館年報 令和4年版	鶴舞中央図 書館	8	86	A4	本編 70 資料編 69	関係図書館
選定児童図書目録 令和3年度版	鶴舞中央図 書館	6	194	A4	30	学校、関係機関
なごやっ子読書ノート (1・2年生向き)	鶴舞中央図 書館	6	41,000	B5	20	学校
なごやっ子読書ノート (3・4年生向き)	鶴舞中央図 書館	6	41,000	B5	20	学校
なごやっ子読書ノート (5・6年生向き)	鶴舞中央図 書館	6	41,000	B5	20	学校
図書リスト「読み聞かせ 絵本のたね」	鶴舞中央図 書館	6	2,000	B5	32	小学校、特別支援 学校
名古屋市博物館2023年度年 間行事予定	博物館	3	15,000	A4 3つ折 り	6	市民
名古屋市博物館だより No.233No.234	博物館	4・10	3,800	A4 外3つ折 り	6	関係機関、関係博 物館、市民
名古屋市博物館研究紀要 第46巻	博物館	3	700	A4	52	関係機関、関係博 物館、市民
猿猴庵の本 第29回配本 「猿猴庵日記 天明四年」	博物館	3	950	A4	82	関係機関、関係博 物館、市民
蓬左 No.103	蓬左文庫	6	2,500	A4	8	関係機関、関係博 物館、市民
蓬左 No.104	蓬左文庫	1	2,500	A4	8	関係機関、関係博 物館、市民
名古屋市美術館ニュースア ートペーパー No.120～No.122	美術館	4・8・12	各5,000	A4 片観音 折り	6	関係機関、学校、 市民
名古屋市美術館研究紀要 第17巻	美術館	3	300	A4	24	関係機関

名称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	A3 2つ折り 3山経本 折り	16	市民
アサラスコープ No. 431～No. 433	科学館	7	25,000	A4	8	学校(園)、公所、 市民
		10	25,000		8	
		3	20,000		4	
名古屋市科学館要覧 (令和4年度)	科学館	8	80	A4	74	関係機関
名古屋市科学館紀要 No.49	科学館	3	200	A4	31	関係機関
事業案内	教育センター	3	800	A4	55	学校(園)、公所
「ハートフレンドなごや」 リーフレット	教育センター	4	10,000	A4 3つ折り	6	学校(園)、公所
「ハートフレンドなごや」 ポスター	教育センター	4	1,200	B3	1	学校(園)、公所
なごや部活動人材バンク指 導者・補助者募集リーフレ ット	部活動振興室	8	600	A3 2つ折り	4	関係機関、公所、 市民
NAGOYA School Innovation	新しい学校 づくり推進室	2	1,500	A4	22	学校

2 教育年表

(令和4年4月～令和5年3月)

月日	事項
4. 1	令和4年度高校入学者から、新学習指導要領が年次進行で始まる 小学校高学年で「教科担任制」が本格的にスタート
5. 31	文化庁、「日本語教育の質の維持向上の仕組みに関する有識者会議」の初会合開催。日本語教員の国家資格化などを検討
6. 7	政府、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（骨太の方針）を閣議決定。1人1台の情報 端末環境による個別最適な学びと協働的な学びを早急を実現
23	文部科学省初の「児童生徒の近視実態調査」。裸眼視力1.0以上の割合は、小学1年生が約 8割、中学3年生が約4割。学年が上がるにつれ減少
24	文部科学省、「学校施設整備指針」を改訂。「個別最適な学びと協働的な学びの実現」の 観点を加える
7. 1	改正教員免許法が施行され、教員免許更新制が正式に廃止
11	文部科学省の令和2年度「通級指導実施状況調査」。通級指導は小学生14万255人、中学 生2万3142人が受けており過去最多
28	文部科学省、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を公表。4年ぶり実施の理科では、 平均正答率が5割を切る。実験やデータを基に考察する探究的学習に課題
8. 8	文部科学省の「公立学校施設老朽化状況調査」。公立小中学校で築45年以上の施設の面 積が、平成28～令和3年度の5年間で1.8倍に拡大
25	中央教育審議会のワーキンググループ、令和6年度から小学5年～中学3年の英語でデジタ ル教科書を本格導入する中間報告案を了承
31	文部科学省の令和3年度「教育情報化実態調査」。公立学校の教育用コンピュータの端末 台数が児童生徒数を初めて上回る
9. 9	文部科学省調査。物価高に対応して学校給食費の保護者負担軽減策を実施・実施予定の 自治体は8割を超える1491自治体に
14	文部科学省調査。コミュニティ・スクールを導入する公立学校は1万5221校で、公立学校 の4割を超える
10. 27	文部科学省の令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調 査」。全国の小中学校で不登校だった児童生徒は24万4940人
31	文部科学省、高校通信教育規程改正案を公表、令和5年度から施行予定。通信制高校の質 を保証するため、教員数を生徒80人当たり1人と明確に

12. 6	文部科学省、生徒指導の基本資料「生徒指導提要」を12年ぶり改訂。「発達支持的生徒指導」を重視
19	中央教育審議会、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」を文部科学大臣に答申。教員不足対策を打ち出す
27	文化庁とスポーツ庁、公立中学校の休日の部活動の地域移行に向けて「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を正式に公表
1. 17	文部科学省の調査研究協力者会議、「議論の取りまとめ」を公表。栄養教諭や養護教諭の資質向上策などを盛り込む
23	文部科学省、「夜間中学の設置・充実に向けて（手引）」第3次改訂版を公開。不登校特例校設置の工夫などを例示
2. 3	文部科学省、「公立学校の教師の勤務時間の上限」（時間外勤務が1月45時間以内、1年360時間以内）を令和5年度中に条例や規則で明記するよう都道府県教委等に通知
7	文部科学省、都道府県教委等に「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について」を通知。学校に、犯罪相当の悪質ないじめは速やかに警察に通報するよう求める
10	文部科学省、令和4年度の卒業式において、児童生徒や教職員はマスクを着用しないことを基本とする方針を都道府県教委などに通知
3. 8	中央教育審議会、「次期教育振興基本計画について」を文部科学大臣に答申。中学校卒業段階で英検3級相当以上、高校卒業段階で準2級相当以上の生徒の割合が各6割以上を目標
17	文部科学省、学校の衛生管理マニュアルを改訂。4月1日以降、学校生活でマスクの着用を求めないことが基本に
31	▲名古屋市立比良西幼稚園が閉園

(注) ▲は本市における事項

3 中学校区一覽

(令和5年4月1日現在)

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今池 城山 東星 千種台 千種 振甫 若水	内山千種 千石 田代見付 東山星ヶ丘 自由ヶ丘富士見台 宮根千代田橋 大和上野 春岡高見
東	あずま 富士 桜丘 矢田	筒井葵 東桜山吹 東白壁 旭丘明倫 矢田砂田橋
北	若葉 志賀 北陵 大曾根 八王子 楠 北	杉村名城光城 川中 辻東志賀 城北 飯田宮前 六郷六郷北 大杉清水 楠如意 楠西 味鏡西味鏡

区名	中学校名	学区関係小学校名
西	浄心 菊井 名塚 天神山 山田 平田 山田東	上名古屋城西 児玉 なごや 庄内稲生 榎栄生 枇杷島南押切 山田中小田井 平田浮野 大野木比良 比良西
中村	豊国 笹島 笈瀬 御田 豊正 黄金 日比津	日吉千成 笹島 ほのか 柳岩塚 八社 中村稲葉地 稻西 牧野米野 豊臣日比津 諏訪
中	前津 丸の内 伊勢山	栄大須 丸の内 松原橘 平和正木

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	白 山	新 栄 老 松 千 早
昭和	桜 山 北 山 川 名 駒 方 円 上	松 栄 御 器 所 鶴 舞 吹 上 川 原 伊 勝 滝 川 広 路 八 事 村 雲 白 金
瑞穂	田 光 瑞穂ヶ丘 菽 山 汐 路 津 賀 田	堀 田 穂 波 御 劔 高 田 弥 富 中 根 豊 岡 汐 路 陽 明 瑞 穂 井 戸 田
熱田	沢 上 宮 日 比 野	高 蔵 旗 屋 千 年 白 鳥 船 方 野 立 大 宝
中川	一 色 長 良 山 王 一 柳 高 杉 八 幡 昭 和 橋	正 色 五 反 田 愛 知 常 磐 篠 原 広 見 露 橋 八 熊 野 田 荒 子 野 中 島 中 島 幡 八 幡 橋 昭 和 橋 玉 川

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	富 田 供 米 田 助 光 は と り	春 田 明 正 戸 田 豊 治 長 須 賀 西 前 田 千 音 寺 赤 星 万 場
港	港 南 港 北 当 知 宝 神 東 港 港 明 南 陽 南 陽 東	大 手 稲 永 野 跡 正 保 小 碓 当 知 明 徳 当 木 港 西 高 神 宮 寺 東 築 地 西 築 地 港 楽 東 海 中 川 東 海 成 章 福 田 西 福 田 福 田 福 春 陽
南	本 城 新 郊 桜 田 大 江 明 豊 名 南	笠 寺 笠 東 星 崎 大 磯 呼 続 大 磯 桜 住 春 日 野 菊 田 道 徳 豊 田 伝 馬 明 治 柴 田 白 水 鳥

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	南 光	大 生 宝 宝 南
守山	守 山 守 山 北 守 山 東 大 森 森 孝 守 山 西 志 段 味 吉 根	守 山 西 城 廿 軒 家 小 幡 北 白 沢 小 幡 苗 代 大 森 大 森 北 天 子 田 森 孝 西 本 地 丘 森 孝 東 二 城 鳥 羽 見 瀬 古 志 段 味 東 下 志 段 味 上 志 段 味 志 段 味 西 吉 根
緑	鳴 海 左 京 山 滝 ノ 水 扇 台 鎌 倉 台 千 鳥 丘 東 陵 鳴 子 台 神 沢 有 松	鳴 海 相 原 緑 平 子 旭 出 滝 ノ 水 小 坂 鳴海東部 徳 重 常 安 大 清 水 片 平 浦 里 東 丘 太 子 鳴 子 長 根 台 戸 笠 黒 石 桃 山 有 松 桶 狭 間 南 陵

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	大 高 神 の 倉	大 高 大 高 南 大 高 北 神 の 倉 熊 の 前
名東	猪 高 上 社 藤 森 猪 子 石 香 流 神 丘 高 針 台 牧 の 池	猪 高 猪 子 石 北 一 社 上 社 本 郷 藤 が 丘 豊 が 丘 蓬 来 平 和 が 丘 香 流 引 山 西 山 名 東 高 針 極 楽 貴 船 前 山 梅 森 坂 牧 の 原
天白	天 白 植 田 南 天 白 平 針 原 方 久 山 御 幸 山	天 白 山 根 植 田 植 田 北 植 田 南 植 田 東 野 並 平 針 平 針 南 原 原 平 針 北 高 坂 相 生 しまだ 八 事 東 表 山 大 坪

教 育 要 覧

令 和 5 年 版

発 行 名 古 屋 市 教 育 委 員 会

編 集 名 古 屋 市 教 育 委 員 会 事 務 局
総 務 部 企 画 経 理 課

発行年月 令 和 5 年 1 2 月